

議会だより

あつま子ども未来議会特集号



まちづくりプロジェクトの発表をする子ども未来議員

～議会だより別冊「あつま子ども未来議会特集号」の発刊にあたりまして～

平素、町民の皆さまには、町議会の活動に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜りますことを厚くお礼申し上げます。

本町議会では、開かれた議会を目指して、さまざまな取り組みを行っておりますが、その一環として、昨年11月29日に、上厚真小学校6年生を対象として、「子ども未来議会」を開催いたしました。

児童の皆さんに、議会の仕組みや、役割、民主主義のルールなどを少しでも理解していただくことを企画しましたが、子どもたちの柔軟で新鮮な目線から、厚真町の「まちづくり」に対して、たくさんのご意見、ご提案をいただきました。

町議会としましても、児童の皆さんからいただいたご意見、ご提案を真摯にうけとめ、さらなるまちづくり、議会活性化を行っていく所存です。

つきましては、この「子ども未来議会」の内容を1冊にまとめましたので、どうぞ皆さまでご覧ください。

厚真町議会議長 渡部 孝 樹

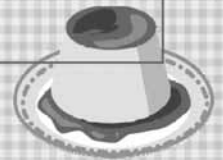
かねもとうみね せい の あや か わたなべ さ ら
兼 本海音さん・清野綾花さん・渡 邊咲羅さん

方法は、特産品を生かしたスイーツをつくり、インターネットのホームページで情報を流せば、他の地域の人にも知ってもらえ、厚真町に来たいという人が増えると思います。

スイーツは、「あつまのゆるキャラ」をつくったときのように、町民の投票で決めたいと思います。



対象は、厚真町の子供から、お年寄りまで、そして、厚真町以外の地域の人達です。



実際に作ってみて・・・

先生方にも、おいしいと好評をいただきました！



すごくおいしかった！
 作るのすごく楽しかった！

ですが、少しボリュームがあったので、

コーンフレークなど、軽めなものを多めに入れた方がいいと思います。

あと、ジャムなどでも甘くなつたので、ハスカップのものを多く入れたらいいと思います。

町長答弁

厚真町には、農林水産物などたくさんおいしい食材があり、食の宝庫だと自慢できますが、それが町外の方に十分発信できていないのが、弱点ではないかと思っています。

町の公式キャラクター「あつまるくん」を誕生させたのも、ゆるキャラを使って厚真らしさを発信したいという思いがあったからですが、「あつまるくん」の活用だけで町をPRするのは難しく、おいしい食材をどう加工して、皆さんに食べていただくか考えることが必要になってきます。

昨年の子ども未来議会でも、「ハスカップの飲み物を作ってはどうか」という提案があり、町では実際に外部発注で試作品を製作中です。また、パティシエの学校の生徒の方にスイーツを作っていたいただき、町外の方に振る舞うというプロジェクトも行いました。

しかし、まだまだ多くの方に食べていただく機会が少ないので、ぜひ来年は、小・中学校の皆さんにも食べていただいで、評価をしていただく機会を作りたいと考えています。

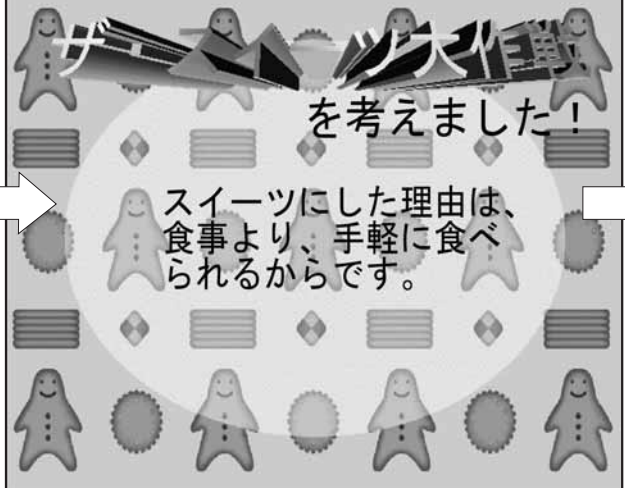
また、町の食文化として根付いていけるように、飲食店と連携したプロジェクトも考えていかなければならないと思います。インターネットやアンテナショップのようなものを活用し、PRすることも考えていきますので、楽しみに待っていていただければと思います。

1班 ザ・スイーツ大作戦

厚真町には、お米やハスカップなどおいしい食材がたくさんあります。

しかし・・・それを生かしていないと思いました。

そこで・・・



私達は、具体例として
ハスカップ・ハスカップ
というパフェをあげます。



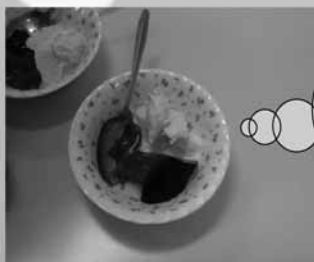
このようなパフェです。



ハスカップは、「不老長
寿の果実」と言われ、健
康に良いんです！

女性はもちろん全世代の人までが
食べたいと思えるようにしました！

そして、厚真らしさをだ
すため、「あつまるく
ん」の旗をたてました。



新発売の
三色ゼリーです。

そのようなスイーツを作り、
インターネットにリンクする
ことでちがう地域の人を知り、
厚真町に来る人が増えて、明
るく楽しい町になると思いま
す。

厚真町民はもちろん、
ほかの地域のみなさん
も楽しめるなんて、す
ごいことだと思いませ
んか。

2班 YES！道の駅プロジェクト！！

動機は・・・

習い事などで厚真町の事を
知っている人が少なかったので

見返したい！

と思ったからです。

わたしたちが考えた道の駅プロジェクトとは・・・

廃校となった **富野小学校** を

改築して人を呼びこむ

道の駅 にする！！

というプロジェクトです！



↑ 富野小学校

ハスカップおにぎり



費用は・・・

人件費
暖房費
光熱費
食費
水道費
改築費

などです！

二つ目は紹介の仕方です。

厚真町のホームページにリンクし、そこから
道の駅本体のホームページに入れるようにします。



おおたか りく かな やしゆ い たきそういちろう
大高 陸君・金谷柁迩君・滝壮一郎君・
 ながと み く
長門実空さん

1つ目の

ネイチャーパーク

とは・・・

ツリーハウス・水遊びのできるふん
 水・植物園などがあり、たくさんの
 自然とふれあえる公園。

まず、

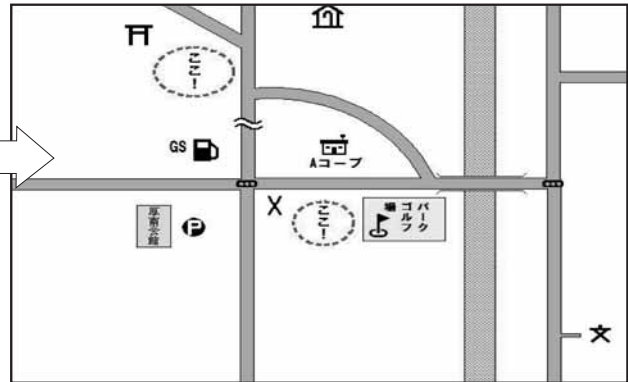
ツリーハウス
 について



ネイチャーパークを

作る場所

例えば・・・



自然を楽しむために
 考えたのが・・・
 サイクリングロードの周りに
 木を植えること。
 でも、鹿などの動物から守るために
 柵やネットをたてる。

帰り道は

- 1キロ地点
- 2キロ地点
- 3キロ地点
- 4キロ地点
- 5キロ地点
- 6キロ地点

の折り返し地点を曲がると
 ゴール（スタート）にもどれる。

町長答弁

まず、公園についてですが、厚真町には、公園という名前のものが大小19あり、上厚真大橋から共栄橋の付近までのサイクリングロード的なものを含めると20カ所になります。その公園を利用される皆さんから見ると何か物足りないなという感想を持たれたのだと思います。

昨年の子ども未来議会でも、同じように公園改造プロジェクトというものが提案されましたが、皆さんの目線に立った管理や施設の充実を図らなければならぬなと感じています。ただ、ツリーハウスのようなものを造るのは非常に難しいと思いますので、公園の持ついろいろな機能を生かすことを検討していきたいと考えています。

また、サイクリングロードについては、先ほど話したように、上厚真大橋と共栄橋の間、旧富野小学校の間に約4キロほどのサイクリングロードが整備されています。

ただし、今まで町が管理してこなかったで、今後、景観に配慮し、皆さんに楽しんで使っていただけのような管理をしていきたいと思っています。

世の中、健康ブームで、森の中を歩くというようなフットパスがはやっているようです。これから何年かかかりますが、町の自然をもっと魅力的なものにし、健康増進やリラクセスできるような整備をしていきたいと考えています。

3班 ネイチャーパーク&サイクリングロードプロジェクト

厚真町は、せっかく自然が豊かなのに
その木が遊び場をじゃましていて自然
と触れ合える
公園などが少ない・・・

そこで考えたのが・・・！！



ツリーハウスの中では、週
に二回・土日に子ども向け
の工作教室を開催します。

工作教室では

- ・自然のもの（松ぼっくり、
どんぐりなど）を使った工作
- ・アイヌ民族の伝統的なもの

が作れる。

参加すると植物園の無料券がもらえる！

植物園に入るには、

学生	30円
大人	50円

※学生・・・高校生以下の学生
幼児は入らない

無料券を持っている人はもちろん無料！

また、もう一つの案として

2班が提案している道の駅と合体し、
同じ場所にネイチャーパークを作る

ことも提案します。

2つ目は・・・

自然を楽しむ
サイクリングロード

自転車をレンタルする。

1時間	500円
2時間	800円
3時間	1000円
4時間	1200円

小学生以下は、ヘルメットを装着。

これらを行うことで厚真町が
”自然を生かす町”
として有名になり、たくさん
の人がきて活気づくと思う。

また、子供などの人々に自然とふ
れあうことの楽しさ
をわかってもらい、たくさんの人
に厚真町の自然のすばらしさを
知ってもらえる。

子ども未来議会ギャラリー



最初に任命書と議員章が交付されました



緊張した雰囲気の中議会がスタート



「ザ・スイーツ大作戦☆」の発表を行う1班



「YES！道の駅プロジェクト」を発表する2班



真剣に聞き入る子ども未来議員たち



「ネイチャーパーク&サイクリングロードプロジェクト」の発表を行う3班



議長役の森山明日香さん（左）と渡邊咲羅さん



町長も丁寧に答えてくれました

議会開催前には、こんなこともしました



上厚真小学校で議運委員と懇談



役場職員の前で議会のシミュレーション

子ども未来議会 子ども未来議員の感想



大高 陸君



ぼくは、子ども議会の感想は二つあります。

まず一つ目は、発表です。発表する前は楽だと思っていたけど、実際は意外と大変でした。それに発表の準備も大変でした。特に、自然を生かすアイデアを考えるのに時間がかかりましたが、楽しかったです。

二つ目は、町長などの感想を聞いて無理なこととは無理、良いことは良いこと、はつきり言ってくれて嬉しかったです。それに、みなさんが真剣

に聞いてくれて、準備したかがありました。

みんなが協力して約三カ月準備した提案が実行されると嬉しいです。

加瀬谷咲良さん



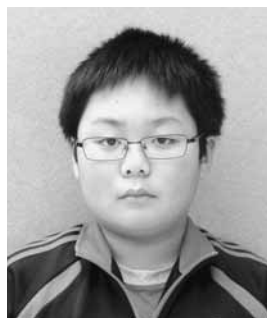
ツチと任命書を受け取りました。自分たちの班の順番がまわってきた時はすごくきんちょうしました。パソコンで操作している時、少しタイミングが速くなってしまったところがあつたけれど、終わった時はすごく安心しました。町長さんの答弁を聞いて「そうなんだ」と思うところがたくさんありました。

町長さんは無理だとおっしゃっていましたが、私たちの班が出した提案が少しでも役に立てたらなと思いました。

あつま子ども未来議会は、どんな提案をすれば厚真町が活気づくか、いろいろ考える議会でした。三ヶ月の間いろいろ班の中で意見を出し合ったり、よくないところを言い合って提案を組み立てていきました。すごく大変でした。

本番ではまず、議員バ

金谷 柁池君



あつま子ども議会の感想は、初めて大人の人と議会をやったので、とてもきちょうしたことです。また、笑いそうになつてしまい、それをがまんするのが大変でした。それに、議員章バッヂを落としてしまったのが、大失態しました。

しかし、少し自信が持てたと思います。この議会を通し、新しく何かにちよう戦していきたいです。

兼本海音さん



私の厚真町子ども未来議会を通しての感想はたくさんあるのですが、その中から一つ紹介したいと思います。

でしたが、本番では「〇班の人達は前に出てきてください。」というかたちで、とてもあせりました。しかも、あせりすぎて、返事をするのも忘れたし、議員バッヂを落としそうにもなりました。最初からこんなに失敗して、最後までしつかりとやっていけるか、不安になりました。ですが、その心配をする必要はなくなりました。自分達の発表がうまくいったからです。はきはきとした大きな声で発表することができました。町長さんも、私達の提案を聞き、「とても良い提案だと思います。新しくスイーツをつくり、PRすることとはとても大切なことですね。」と喜んでくださいました。本当にうれしくて、一生懸命計画してきた良かったなとあらためて思いました。

この経験を生かし、これから、自分から進んで堂々と意見を言えるようがんばります。そして、一生に一度あるかないかというようないかな体験をさせてください。ありがとうございました。でも、ありがとうございます。ありがとうございました。

清野綾花さん



会議場はとても思いや困気だったので、一歩として前に出るのは、とても緊張しました。その理由に、話した言葉が全てインターネットでみなさんに届くということがありました。間違えても、止まっても、全て届いてしまうので責任感が大きかったです。でも、その気持ちも、「プロジェクトが映らない」というハプニングで消えてくれました。映らなかったときはあせりましたが、これがあつて良かったと思います。

「緊張」や「不安」がおさまって、周りがよく見えるようになると、町長さんの答弁にいいところも足りないところも含まれていることに気づきました。町長さんは、私たち小学生に真剣に向き合ってくれて答弁してくれました。私のあつま子ども未来議会の感想は、二つあります。



曾我菜祐さん

滝 壮一郎君



一つ目は、本番までの三ヶ月間です。最初は、なかなか意見がまとまらず、本当にこれでやっていけるのか、と思いましたが、しかし、だんだんと意見がまとまり、一つの目標に向かって意見を出し合い、苦戦しながらもプロジェクトで映す物を、より自分達の思いが伝わるように、何度も作り直して、作れました。

二つ目の感想は、議会当日です。当日は、もう朝からきん張していましたが、今まで練習してきたとおりにプレゼンできるか、失敗してしまわないか、と、不安だけが積もっていました。前の班の発表が終わり、自分達の番になり、今までに経験したことがないほど緊張しました。緊張し過ぎて、早口になってしまったのではないか、と思いました。

しかし、大きな声で、ゆつくり、ハッキリと、プレゼンできました。プレゼンが終わった時、自分達がやってきたことを、出し切れた！と、とてもホッと、安心しました。ふだん、あまり体験することのできない議員という役をできて、とても光栄でした。そして、この、貴重な経験を将来に役立たせたいです。

十年後二十年後、はたまた三十年後のこの厚真町に、私達が考えた施設や物が、あつてほしいと願ひ、本当にあれば、私はとてもうれしく思います。

ぼくは、子ども未来議会に出て、きんちようしました。たくさんの方が

来てその前で発表するとなると、座っている時の二〜三倍きんちようしました。発表の時、言うタイミングが少し遅れてドキツとしました。話す時かみそうになると「ゲツ」と思いました。でもその後の発表はうまくいったので少しホツとしました。ぼくはこの厚真町をもっと良くするのがとても難しいことなのだとわかりました。今までは簡単

なのかと思っていました。ぼくは子ども未来議会に出て、厚真町をもっと良くしようという思いが深まった気がしました。これから厚真町がもっと良くなつていくといいと、ぼくは思います。

長門実空さん



おどろきました。私にとつてはあつという間の時間だったと感じます。本番は、自分達の案を町長や他の方達がどう受けてくれるのか、少しきん張しました。任命書を渡す前に「長門実空」と呼ばれた時は、背すじがピンとのびて今日限りの議員なんだと胸を張りたいような、うれしい気持ちになりました。

今回、あつま子ども未来議会に出てみて、とても良い経験ができたと思います。準備を始めてから発表の日まで、三ヶ月以上たつていたんだと聞いて、

私が、厚真町子ども未来議会をやってみての感想は三つあります。一つ目は、二班の発表

森山明日香さん



発表では、シナリオ通りにいかなかったけれど、特に失敗はなく、しっかりとみなさんに聞いてもらえました。町長も、前向きにとらえてくれていると思います。

なので、十年後の厚真町がもっと有名で、明るい町になつていてることを期待しています。

二つ目は、議長をやれたことです。議長をやつてみて、とてもきんちようしたけど、かまらずにつきりと言えました。議長というすばらしい経験

が、厚真町子ども未来議会をやってみての感想は三つあります。一つ目は、二班の発表

ができてよかったです。

三つ目は、一班、三班の発表をそれぞれ違う位置から見れたことです。

一班的発表は前から、三班的発表は後ろから見ました。一班的発表は、私のすわっている位置からはなれていたのにちゃんと声が聞こえました。発表の仕方もそれぞれとても良かったです。

私たちが出した意見が採用されて、十年後厚真が活性化されたものになっただけなら嬉しいですが。

渡邊咲羅さん



厚真町子ども未来議会に出て、私は大変良い経験ができたと思います。

まず私は、議長というすばらしい役をさせていただいたからです。議長の席に座ったときは、とてもきん張りました。

「シナリオどおり言えるかな」「もしまちがえてしまったらどうしよう」という考えが頭の中をぐるぐると回りました。しかし、一回目のセリフをいうと、二回目、三回目・とスラスラとセリフが出てきました。とてもホ

ッとなりました。

また、議員として出られたこと自体とてもうれしく思いました。そして、私達一班的のテーマは、スイーツ。自分達が好きなものを、好きな厚真町に生かせるかも知ったときもうれしかったです。

今後、厚真町が観光客の多い、明るく楽しいよい良い町になってほしいと思います。

～議会事務局からのお知らせ～

議会を傍聴しませんか。

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。
臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。



子ども未来議会で使用した
議員章のデザイン

インターネット中継もご利用ください。

インターネットで議会を見ることもできます。
議会開催中に、「生中継」をご覧になるか、議会終了後配信される「録画中継」をご覧ください。

議会の日程や傍聴・中継に関することは、議会事務局（TEL 27 - 2485）へお問い合わせいただくか、議会HPにも掲載しますので、ご確認ください。

議会HP <http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

議会中継 <http://gikai.town.atsuma.hokkaido.jp/>

2014.1.24

議会を傍聴できます ⇨ 厚真町議会のホームページ
<http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

編集・発行 厚真町議会広報特別委員会
〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町 120 番地
TEL0145-27-2485 (電)
TEL0145-27-2321 (代)
FAX0145-27-2328



議会が終わって、ホッとした様子の子ども未来議員たち

講評～宮坂町長～

今日は、素晴らしい提案をいただき、ありがとうございました。この提案に至るまでは、長い時間議論して、研究を重ねたのだと思います。改めて敬意を表したいと思います。

大事なことは、積極的に社会を自分の目で見、生活に生かしていく姿勢だと思っています。

また、民主主義という言葉は、古めかしいですが、大事な言葉です。社会に自分たちが関わっているのだと思うことが大事なのです。人に任せていては、自分たちの権利も自由も保障されないというのが現実ですので、ぜひこういった機会を生かして、これからの大事な時間、勉強に生かしていただければと思っています。

これからも厚真町が、皆さんにとって素晴らしい故郷であり続けるために、頑張っていきますので、これからもさまざまな視点でご意見をいただければと思っています。今日は、本当にお疲れ様でした。

講評～佐藤教育委員長～

緊張の中で進められた「あつま子ども未来議会」、どうもお疲れ様でした。

こんなにたくさんの人を前にして、意見を述べるのは、大変なことだと思います。皆さん、貴重な経験をされたのではないのでしょうか。

今日、3つの提案がありましたが、いくらいいアイデアであっても、行動を起こさなければ、ただのアイデアでしかありません。行動することによって、そのアイデアが大きく、深いものへと生きてくるのです。

これから、皆さんは、中学生、高校生、大学生へと成長していきます。

どうぞ、今日の経験を生かし、皆さんが厚真の広告塔となって、たくさん行動してください。

皆さんの頑張りを期待しています。

本日は、本当にありがとうございました。